



11月21日・22日 公民館短期講座

もったいないから生まれた 干し芋講座



いいなっつ農園で収穫したサツマイモの中には、大きすぎる・傷がある・色が良くない等のサツマイモもありましたが、味は抜群!そのサツマイモを使って干し芋を作りました。

蒸す・ゆでる等、長時間加熱すると甘さが増すので1時間以上加熱し日吉の「天狗の台所」で乾燥しました。12時間乾燥し甘くて美味しい干し芋の出来上がり。参加者の9名は稲津産のサツマイモで地元産干し芋ができ喜んでみえました。



12月7日 一足お先に豪華なクリスマスプレゼント♪
 まちづくり年末イベント
 『ア・カペラ シンガーズ うすむらさき』による
Christmasコンサート が開催されました。



朝からしとしと雨が降っていましたが、午後の開場時間になると薄日が射してきました。

例年の年末イベントとは会場設定が違い、演奏者の声が響く場所を舞台としてホールの南側にステージを設営しました。7人の歌声に感動し心に残るコンサートでした。

オペラから演歌・歌謡曲・クリスマスバージョンと多彩でワクワクし、しっとりとした歌には胸が熱くなりました。エピソードなど交えながらのお話も分かりやすく、楽しく音楽に触れることができました。



12月10日 公民館短期講座 そば打ち体験



そば粉をふるいにかけ水と混ぜていくと新蕎麦の香りが調理室いっぱいに広がりました。そば打ちの中でもこの「水まわし」という作業が最も肝心だそうです。練って伸ばして切って茹でる全ての工程をマンツーマンで指導してもらい、上手に打つことができました。

出来上がった蕎麦はたっぷりのお湯でかき混ぜないように茹でて冷水で締め、講師手作りのつゆで講師の蕎麦と自分の蕎麦を食べ比べました。講師の細く揃った蕎麦に感嘆し、自分で打った蕎麦のおいしさを自画自賛する楽しい時間となりました。



ii-nuts!!ギャラリー

20日からレコード
展示が始まります

プレゼントありがとう

100人分のくつ下で作ったツリーを目印に、稲津サンタさんからプレゼントが届きました。クリスマスに、くつ下をかしてくれた子たちへ渡すことができました。

ご協力いただきました個人様、団体様、ありがとうございました。



1月の稲津さん

百寿おめでとうございます。

水野 進さん 100歳 (下小里)



11月15日に100歳の誕生日を迎えられ瑞浪市長さんからお祝いに訪問されました。「おめでとうございます。家庭で100歳を迎えられる方は少ないです。元気で長生きして今度は瑞浪市最高齢でお祝いに来ます。」とおっしゃっていました。

進さんは21歳の時に徴兵され、島根県松江の基地に入隊し、その後宇都宮へ転属になりそこで終戦を迎えました。帰ってからは、陶器工場のせり(窯焚き)をするようになりました。腕を買われ何軒も請け負っていましたが薪から重油に変わり仕事が無くなり、製陶会社に就職しました。

定年してからはヘボやシンコバチ捕りがライフワークとなりました。三重県や滋賀県へ1週間くらい泊まり込みで行き、帰って巣の中身を抜いて大きな鍋で煮て冷凍保存しておきます。毎日これを食べるのが健康の秘訣だそうです。奥さんは、食事の後「茶碗洗ってやるで座つとれ」と言ってくれると嬉しそうでした。

青少年育成町民会議 標語優秀作品

テーマは「思いやり」「未来」「仲良し」この中から好きなテーマを選んで応募していただきました。

- ・ありがとう えがおになれる まほうだね
稲津小1年 宇井 彪翔
- ・ありがとう その一言が 思いやり
稲津小6年 可児 里彩
- ・さしのべよう 勇気と優しさ すぐそこに
瑞浪南中2年 平子 穂乃花
- ・助け合い 一緒に創ろう いい未来
麗澤瑞浪中1年 青木 そら

入選80作品の中から4作品が優秀賞に選ばれました。公民館ホール入口付近に標語看板を設置し1年間掲示されます。



人	11月1日現在		12月1日現在		増減
	男	2,032 人	2,028 人	-4	
口	女	2,050 人	2,043 人	-7	
	計	4,082 人	4,071 人	-11	
世帯数		1,740 世帯	1,736 世帯	-4	

小里	不燃ごみ		ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着	
	1月22日	1月29日	1月21日	1月28日
萩原	2月19日	2月26日	2月18日	2月25日

歳神様
 あけましておめでとうございます。清々しい新年を迎えられたことお慶び申し上げます。「八百万の神」日本では大古の昔から多くの神様がいて、考えられてきました。山の神様、海の神様、田畑の神様、日常生活にも常に神様が宿っていると言われてきました。お正月の代表的な神様として「歳神様」がみえまします。
 門松やしめ飾り、鏡餅の正月行事には大切な意味があると言われております。本来お正月とは新しい年に幸運をもたらす「歳神様」をお迎えする行事とも言われてきました。
 ①門松：歳神様が迷わず降りてくるための目印
 ②しめ飾り：歳神様を迎える神聖な場所
 ③鏡餅：歳神様に捧げる食べ物
 ④おせち料理：歳神様と一緒にいただく食べ物
 ⑤お雑煮：歳神様の魂が宿った餅を煮込んで作る正月料理など歳神様に関する行事やしきたりが数多く存在しています。
 歳神様は先祖の霊ともいわれています。お正月は先祖の霊を神様としてお迎えする日とされ、田の神に秋には山の神に姿を変えて我々の近くで見守ってくれているのかも知れません。
 歳神様は1月1日の「お正月」から7日の「松の内」まで滞在するとされています。
 今年の最初の公民館行事は「みんなを楽しいお正月ボラティア」に支えられて子どもたちの笑顔が見えることを期待しています。
 今年も笑顔で過ごせる1年であることをご祈念申し上げます。
 (M)